

「審判官の決定」を刃物で刺し、店の業務用冷凍庫に閉じ込めて出血性ショックで殺害、店内にあった売上金など約二十九万円を奪った。

二審判決は、金銭に困っていた被告が事件直後、金融機関に預けた硬貨の種類と額が被害の一部と類似しており、被害者が殺害された時間帯と近接した時間帯に被告が店内にいたなどとして、犯人と結論付けられた。

東京で最多 20人死亡

死後判明 七療養者も

東京都は二十八日、新型コロナウイルスの感染者が新たに千六十四人報告されたと明らかにした。直近七日間での一日当たりの平均九八七・四人となり、三の水準に下がったのは今五日以来。累計は九万七千五百七十一人となった。千九百九十代の男女二十人死亡も確認され、死者の計は八百四十七人となった。

都が発表した一日当たり死者数としては過去最大。今月九日から二十七日かけて亡くなり、うち一は自宅療養中だった。容が急変して救急搬送先でなくなった後や、自宅で死

2021年1月29日 東京新聞朝刊

埼玉での 変異種感染の 40代男性の同僚

東

厚生労働省は二十八日、国内に滞在歴のない埼玉県

二十〜三十代の男女三人

、英国で広がっている新

型コロナウイルスの変異種

「感染していたと発表し

た。

国立感染症研究所は、一

月初めまでに埼玉県内で新

型コロナ陽性となった人の

埼玉県内の検体をさらに集めて、優先的に解析していく方針。

都は入院患者急増に対応するため、コロナ病床を七

百人前後と高止まりしている」と懸念を示した。

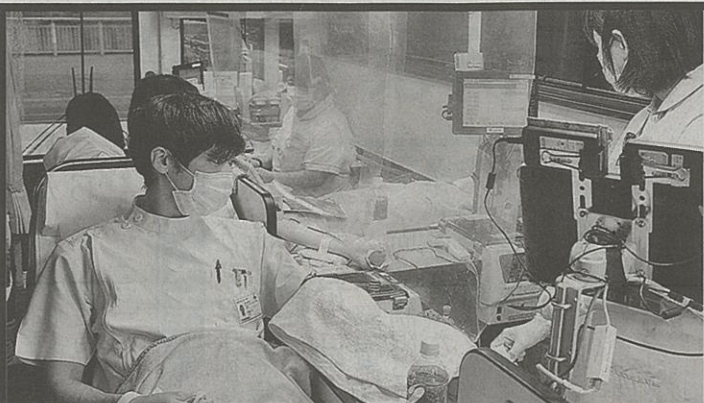
看護師ら献血協力の輪

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下で献血者減少が心配される中、新型コロナウイルス患者を受け入れている横浜市立みなと赤十字病院（同市中区）で二十七日、献血が行われ、看護師や事務職員らが協力した。「できることはやらない」と。献血した男性職員は表情を引き締めた。

（石原真樹）

横浜の病院

午後一時半、病院の入り口近くに設けられた受け付けブースに、職員らが次々と訪れた。「DMAT（災害派遣医療チーム）」と書かれたパーカを羽織って並んだのは高野雄太救急災害業務課長（西モ）。コロナ患者の搬送に付き添って記録や消毒などの業務を担い、「皆さんから病院に寄付や支援をして



献血バスで400名、献血をする臨床検査技師の加藤大さん＝27日、横浜市中区で

呼び掛けた。

神奈川県赤十字血液センターによると、年末年始は多くの協力があり必要量をまかなえたものの、緊急事態宣言後はテレワークになった企業や休校になった大学での献血が中止となり、献血バスの配車が一月は三十一件、二月は二十四件取りやめになった。

代わりに街頭や商業施設、官公庁などにバスを出している。みなと赤十字病院にも、例年は三月に実施している献血の前倒しを依頼したという。日赤は献血ルームなどでの協力を求めている。詳細は、日赤関東甲信越ブロック血液センターのホームページへ。

新規感染 高齢者2割

モニタリング会議 都、4700病床確保

新型コロナウイルス感染症対策を巡る東京都のモニタリング会議が二十八日あり、新規感染者のうち重症化リスクの高い六十五歳以上の高齢者の比率が増え、二割程度と高い水準になっていることが報告された。

三人（全体の21・8％）と、前週の前六百人（17・8％）を上回った。二七日時点の重症患者百五十九人のうち六十代以上が5・5％を占めている。

小池百合子知事は「六十五歳以上が増加傾向にある」と指摘。全体の新規陽性者数は減少傾向にあるが「一週間平均は千人前後と高止まりしている」と懸念を示した。